

2019年3月11日(月)

週刊循環経済新聞掲載

週刊循環経済新聞

日本シーム 1軸粉砕機を新開発 廃家電品などを資源化

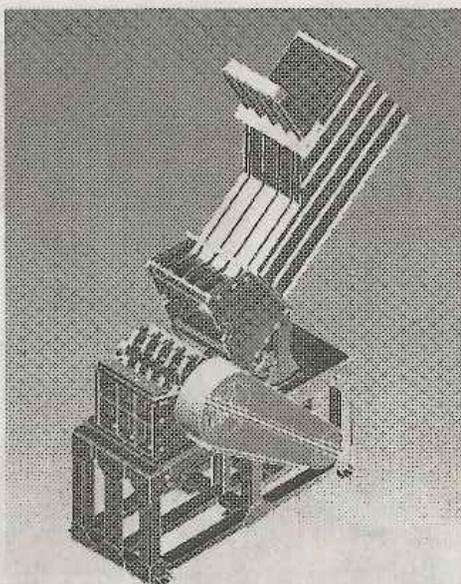
日本シーム(埼玉県川口市、木口達也社長、

☎048・298・7

700)は新たに1軸粉砕機「メガホエール」を開発した。廃家電品や廃自動車部品などを粉砕、金属類が混じっ

ても歯が強靱で割れにくい未来型だ。

処理対象は廃家電や廃自動車など。それらに使われるポリプロピレンやABSなどプラスチック類を分離回収、有効利用する。独自の構造



「メガホエール」完成イメージ

により、6mm以下のビスや厚さ4mm以下の金属片が投入されても刃

が割れにくいよう設計。そのため、前処理の手作業が不要になる。

たとえば、廃棄バッテリーは処理前にネジやビスを取り外さなければならないが、同機はそのまま投入できるため、手作業が大幅に削減できる。処理能力は1時間当たり600〜1000kg。価格は1200万円から。

同社の水流選別装置と組み合わせることでプラと金属を選別し、品質が向上するとう。販売に際し、同社ではサンプル提供による形状や付着物などの

確認の後、テスト機で実演、ユーザーが見学できるように工夫している。

同社はマテリアリサイクルを進める環境機械メーカーとして粉砕機を中心にさまざまな製品を開発してきた。開発のみならず、製造、販売、設置、アフターメンテナンスまで一貫した体制を整備しており、全国で多くの納入実績がある。2011年に(一社)日本産業機械工業会の「優秀環境装置表彰」で同社の機械が会長賞に輝くなど技術力が評価されている。

の納入実績がある。2011年に(一社)日本産業機械工業会の「優秀環境装置表彰」で同社の機械が会長賞に輝くなど技術力が評価されている。